

## 甲南大学 法学部 2015年度前期 『政治過程論Ⅰ』 講義要項

担当教員：矢内 勇生やない ゆうき

時間：木曜1限(9:00-10:30)

Email: yanai@lion.kobe-u.ac.jp

教室：2-24

Website: <http://www.yukiyamai.com>

### 授業の内容

日本は民主制の国家であり、私たち一人ひとりが主権者である。つまり、政治的決定権はそれぞれの「私」が握っているはずである。では、私たちの思い通りに「政治」は動いているのだろうか。もし私たちの思い通りでないのなら、誰がどのように「政治」を動かしているのだろうか。また、主権者であるはずの私たちの意思が反映されない（ように見える）とすれば、それはなぜだろうか。

この授業では、政治過程論の基礎を学び、これらの疑問に答える力を身に付ける。科学としての政治学 (political science) の方法に依拠し、日本だけでなく、世界の民主諸国の政治過程についても説明ができるような一般性の高い理論を学ぶ。

### 授業の目的と到達目標

この授業の目的と到達目標は以下のとおりである。

1. 政治過程論で使われる基本的な専門用語や基礎となる理論を理解する。
2. 政治過程論の研究方法を理解する。
3. 政治過程論がどのような課題を解決しようとしているか理解する。
4. 上の課題に対する「現時点での」回答を理解する。
5. 現実の政治現象に対して「政治過程論的な」疑問をもち、批判的に検討する力を身に付ける。

### 成績評価の方法

学期末の試験(7月23日に実施予定)のみで評価する。試験は論述形式を主とし、授業の内容を理解していることを前提に、政治学の理論を用いて現実の政治過程を分析する力を問う。

すべての授業に出席することを前提とするので、試験以外は出席をとらない。授業を欠席しても減点しないが、欠席したことを理由とする特別の配慮は一切しない。正当な理由があつて欠席する場合も、担当教員や他の受講生から欠席した回の情報を(ある程度)入手し、自習した上で次の授業に出席すること。

### 教科書・参考書

#### 教科書

- 建林正彦, 曾我謙悟, 待鳥聡史. 2008. 『比較政治制度論』有斐閣.
- 伊藤光利, 田中愛治, 真淵勝. 2000. 『政治過程論』有斐閣.

この授業は、特定の教科書の内容に沿って進行するわけではない。毎回の予習内容については、次頁以降の授業計画を参照されたい。ただし、ここに教科書として挙げた2冊については、その大部分を予習の際の「必読」文献に指定してあるので、購入することを勧める。

## 参考書

授業全体に関わる主な参考書は以下の通りである。各回の内容に関連する参考文献は、授業計画に掲載してあるほか、必要に応じて授業中に適宜案内する。参考書は必ずしも購入する必要はない。希望者のみ購入すること。

1. 久米郁男, 川出良枝, 古城佳子, 田中愛治, 真淵勝. 2011. 『政治学 補訂版』有斐閣.
2. 川人貞史, 吉野孝, 平野浩, 加藤淳子. 2011. 『現代の政党と選挙 新版』有斐閣.
3. 浅野正彦, 矢内勇生. 2013. 『Stataによる計量政治学』オーム社.
4. 平野浩, 河野勝(編). 2011. 『新版 アクセス日本政治論』日本経済評論社.

## 授業計画

全体の授業計画は以下のとおりである。受講生の要望、理解度によって内容を変更することがある。授業計画を変更する場合は授業中に案内し、この講義要項を改訂する。最新版の講義要項は、常に <http://www2.kobe-u.ac.jp/~yyanai/jp/classes/pp1/docs/syllabus-process-konan2015.pdf> で入手できる。

各受講生は、各回の「**必読**」文献を事前に読んで授業に参加すること。「**推薦**」文献は希望者のみ読めばよいが、理解を深めるためにはできるだけ多く読むことが望ましい。「**推薦**」文献は復習に利用してもよい。授業で扱ったトピックについてさらに詳しく知りたい受講生は「**参考**」文献を参照すること。

文献は各自で入手すること（必ずしも購入する必要はない）。

### (4/9) 第1回：イントロダクション

**Question: 政治過程とは何か？なぜ政治過程論を学ぶのか？**

推薦 佐々木毅. 2007. 『民主主義という不思議な仕組み』ちくまプリマー新書.

参考 ロバート・A・ダール. 1988. 『統治するのはだれか：アメリカの一都市における民主主義と権力』行人社.

参考 D. イーストン. 2002. 『政治生活の体系分析 上・下』早稲田大学出版部.

### (4/16) 第2回：政治過程論の方法

**Q: 政治過程論はどのような方法で研究を行うのか？**

必読 伊藤ほか『政治過程論』pp.2-22.

必読 浅羽祐樹. 2014. 「比べてみないと、相手も自分も、分からない」SYNODOS, 2014.06.23.  
<http://synodos.jp/intro/9458>

推薦 浅野, 矢内『Stataによる計量政治学』第2, 3章.

推薦 建林ほか『比較政治制度論』pp.1-23.

推薦 加藤淳子, 境家史郎, 山本健太郎(編). 2014. 『政治学の方法』有斐閣, 第1章.

参考 久米郁男, 2013. 『原因を推論する：政治分析方法論のすゝめ』有斐閣.

参考 高根正昭. 1979. 『創造の方法学』講談社現代新書.

参考 戸田山和久. 2011. 『「科学的思考」のレッスン』NHK出版新書.

参考 G. キング, R.O. コヘイン, S. ヴァーバ. 2004. 『社会科学の研究・デザイン』勁草書房.

#### **(4/23) 第3回：権力**

##### **Q: 権力とは何か？ 権力が私たちに及ぼす影響は？**

- 必読 伊藤ほか『政治過程論』pp.23-30.
- 必読 ロバート・ダール. 2012. 『現代政治分析』岩波現代文庫, 第2, 3, 4章.
- 推薦 久米ほか『政治学 補訂版』第5章.
- 推薦 ウリ・ニーズィー, ジョン・A・リスト. 2014. 『その問題、経済学で解決できます。』東洋経済新報社, 第1章.
- 参考 盛山和夫. 2000. 『権力』東京大学出版会.
- 参考 杉田敦. 2000. 『権力』岩波書店.
- 参考 マックス・ウェーバー. 2012. 『権力と支配』講談社学術文庫.
- 参考 スティーブン・ルークス. 1995. 『現代権力論批判』未来社. (注: 2005年刊の第2版あり, Steven Lukes. 2005. *Power: A Radical View*. Palgrave Macmillan.)

#### **(4/30) 第4回：選挙制度 (1)**

##### **Q: 選挙制度とは何か？ 世界にはどのような選挙制度があるか？**

- 必読 建林ほか『比較政治制度論』第2, 3章.
- 必読 伊藤ほか『政治過程論』pp.138-149.
- 推薦 久米ほか『政治学』第22章.
- 推薦 川人ほか『現代の政党と選挙 新版』第6章.
- 推薦 粕谷祐子. 2014. 『比較政治学』ミネルヴァ書房, 第9章.
- 参考 アレンド・レイプハルト. 2014. 『民主主義対民主主義 [原著第2版]』勁草書房, 第8章.

#### **(5/7) 第5回：選挙制度 (2)**

##### **Q: 選挙制度が政治過程にどんな影響を及ぼすのか？**

- 必読 川人ほか『現代の政党と選挙 新版』第6章.
- 推薦 内山奈月, 南野森. 2014. 『憲法主義』PHP出版, 第3講.
- 推薦 久米ほか『政治学 補訂版』pp.456-462.
- 参考 ウィリアム・パウンドストーン. 2008. 『選挙のパラドクス：なぜあの人が選ばれるのか?』青土社.
- 参考 宇佐美誠. 2000. 『決定』東京大学出版会.
- 参考 坂井豊貴. 2013. 『社会的選択理論への招待：投票と多数決の科学』日本評論社.
- 参考 佐伯胖. 1980. 『「きめ方」の論理：社会的決定理論への招待』東京大学出版会.
- 参考 久保慶一, 河野勝 (編). 2013. 『民主化と選挙の比較政治学』勁草書房.
- 参考 岩崎正洋 (編). 2013. 『選挙と民主主義』吉田書店.
- 参考 川人貞史. 2004. 『選挙制度と政党システム』木鐸社.
- 参考 河野勝. 2002. 『制度』東京大学出版会.

### **(5/14) 第6回：投票行動 (1)**

#### **Q: なぜ投票するのか？**

- 必読 伊藤ほか『政治過程論』pp.149–160.  
必読 小林良彰. 2000.『選挙・投票行動』第1, 2章.  
推薦 久米ほか『政治学 補訂版』第22章.  
推薦 川人ほか『現代の政党と選挙 新版』第9章.  
参考 荒井紀一郎. 2014.『参加のメカニズム：民主主義に適應する市民の動態』木鐸社.  
参考 岩崎 (編)『選挙と民主主義』第4章.

### **(5/21) 第7回：投票行動 (2)**

#### **Q: 誰に投票するのか？**

- 必読 伊藤ほか『政治過程論』第5章.  
必読 久米ほか『政治学 補訂版』第19章.  
推薦 川人ほか『現代の政党と選挙 新版』第9章.  
推薦 山田真裕, 飯田健 (編). 2009.『投票行動研究のフロンティア』おうふう.  
参考 小林『選挙・投票行動』第3–11章.  
参考 谷口将紀. 2012.『政党支持の理論』岩波書店.

### **(5/28) 第8回：政権の形成と運営**

#### **Q: 誰がどうやって「政治を動かす」のか？**

- 必読 建林ほか『比較政治制度論』第4章.  
必読 伊藤ほか『政治過程論』第12章.  
推薦 川人ほか『現代の政党と選挙 新版』第11章.  
推薦 久米ほか『政治学 補訂版』第11章.  
推薦 粕谷『比較政治学』第11章.  
推薦 平野, 河野 (編)『新版アクセス日本政治論』第7章.  
参考 待鳥聡史. 2012.『首相政治の制度分析：現代日本政治の権力基盤形成』千倉書房.  
参考 竹中治堅. 2006.『首相支配：日本政治の変貌』中公新書.

### **(6/4) 第9回：議会**

#### **Q: 法律は誰がどのようにして作るのか？**

- 必読 建林ほか『比較政治制度論』第6章.  
必読 伊藤ほか『政治過程論』第9章.  
推薦 久米ほか『政治学 補訂版』第10章.  
推薦 平野, 河野 (編)『新版アクセス日本政治論』第6章.  
参考 川人貞史. 2005.『日本の国会制度と政党政治』東京大学出版会.  
参考 中島誠. 2014.『立法学 第3版』法律文化社.  
参考 福元健太郎. 2007.『立法の制度と過程』木鐸社.  
参考 増山幹高. 2003.『議会制度と日本政治：議事 p 運営の計量政治学』木鐸社.

**(6/11) 第10回：政党**

**Q: 政党とは何か？ 政治過程における政党の役割は何か？**

- 必読 伊藤ほか『政治過程論』第8章。  
必読 建林ほか『比較政治制度論』第5章。  
推薦 川人ほか『現代の政党と選挙 新版』第2-5章。  
推薦 久米ほか『政治学 補訂版』第24章。  
参考 眞柄秀子, 井戸正伸. 2004. 『比較政治学 改訂版』放送大学教育振興会, 第8章。  
参考 粕谷『比較政治学』第10章。  
参考 新川敏光, 井戸正伸, 宮本太郎, 眞柄秀子. 2004. 『比較政治経済学』有斐閣, 第10章。  
参考 ジョヴァンニ・サルトーリ. 2000. 『現代政党学：政党システム論の分析枠組み 普及版』早稲田大学出版部。

**(6/18) 第11回：利益団体**

**Q: 利益団体とは何か？ 政治過程における利益団体の役割は何か？**

- 必読 伊藤ほか『政治過程論』第7章。  
必読 久米ほか『政治学 補訂版』第23章。  
推薦 平野, 河野 (編)『新版アクセス日本政治論』第4章。  
参考 辻中豊. 1988. 『利益集団』東京大学出版会。  
参考 マンサー・オルソン. 1996. 『集合行為論』ミネルヴァ書房。  
参考 森脇俊雅. 2000. 『集団・組織』東京大学出版会。

**(6/25) 第12回：官僚**

**Q: 官僚とは何か？ 政治過程における官僚の役割は何か？**

- 必読 建林ほか『比較政治制度論』第7章。  
必読 伊藤ほか『政治過程論』第10章。  
推薦 久米ほか『政治学 補訂版』第12章。  
推薦 真淵勝. 2009. 『行政学案内』慈学社, 第4章。  
参考 平野, 河野『新版アクセス日本政治論』第3章。  
参考 曾我謙悟. 2005. 『ゲームとしての官僚制』東京大学出版会。  
参考 真淵勝. 2010. 『官僚』東京大学出版会。  
参考 村松岐夫. 1994. 『日本の行政：活動型官僚制の変貌』中公新書。  
参考 飯尾潤. 2007. 『日本の統治構造：官僚内閣制から議院内閣制へ』中公新書。

**(7/2) 休講：補講は7月7日(火)5限(変更の可能性あり)**

**(7/7 火曜5限：7/2の補講) 第13回：日本の選挙 (1)**

**Q: 日本の選挙にはどのような特徴があるか？**

- 必読 伊藤ほか『政治過程論』第6章。  
必読 フランシス・ローゼンブルース, マイケル・ティース. 2012. 『日本政治の大転換：「鉄とコメの同盟」から日本型自由主義へ』勁草書房, 第4章。

必読 砂原庸介. 2013. 「中選挙区制の罪深さ、育てるべきは政党だ：ノスタルジーを捨て、今考えるべきこと」東洋経済 ONLINE 『政治は嫌いと言う前に』 2013.02.25. <http://toyokeizai.net/articles/-/13018>

推薦 平野, 河野 『新版アクセス日本政治論』 第2, 9, 10章.

推薦 川人ほか 『現代の政党と選挙 新版』 第7章.

参考 佐々木毅, 清水真人 (編). 2011. 『ゼミナール現代日本政治』 日本経済新聞出版社, 第5章.

参考 三宅一郎. 『日本の政治と選挙』 東京大学出版会.

参考 谷口将紀. 2003. 『現代日本の選挙政治：選挙制度改革を検証する』 東京大学出版会.

### **(7/9) 第14回：日本の選挙 (2)**

**Q: 日本の選挙は政治過程にどのような影響を与えているか？**

必読 岩崎 (編) 『選挙と民主主義』 第7, 8章.

参考 河村和徳. 2008. 『現代日本の地方選挙と住民意識』 慶應義塾大学出版会.

参考 曾我謙悟, 待鳥聡史. 2007. 『日本の地方政治』 名古屋大学出版会.

参考 齊藤淳. 2010. 『自民党長期政権の政治経済学：利益誘導政治の自己矛盾』 勁草書房.

### **(7/16) 第15回：全体のまとめ**

**Q: 政治過程論 I で何が明らかになり、何が明らかにならなかったか**

#### **質問があるときは**

授業の内容について疑問があれば、遠慮せずに質問すること。授業に関連する質問であれば、どんな質問でも受け付ける。授業中にわからないことがあれば積極的に質問してほしい。「この私がわからないんだから、このクラスの誰にもわからないだろう。しかたないから私が質問してあげる」という気持ちが大事。

授業の後に質問したいことを思いついたら、次の授業のときに質問してかまわない。Eメールでの質問も受け付ける。担当教員のメールアドレスはこのシラバスの最初のページに掲載されている。メールで質問する際は、以下のルールを守ること。

1. メールの題名 (件名、タイトル) を必ず書く (例、「政治過程論1 第3回の内容について質問」)。題名が書かれていないメールは迷惑メールだと判断して読まないかもしれない。
2. 本文 (タイトルではない) に必ず名前 (フルネーム) と学生番号を書くこと。誰から送られてきたかわからないメールには返信しない。
3. 絵文字は使わない！

これらのルールを守ってもらえれば、メールで質問に回答する。

参考: 「教員へのメールの書き方ガイド」 <http://user.keio.ac.jp/~matsuoka/mailkakikata.htm>